

木馬会会報 (第75号)

＊ダービー特集＊



97/05/30

～木馬達の予想～

本紙 トゥインクルダンディーの予想

◎シルクライトニング ○メジロブライト

△ランニングゲイル、トキオエクセレント、シルクジャスティス、ビッグサンデー、
セイリユーオー、サニーブライアン

昨年は競馬ブックに写ったミナモトマリノスの馬体の良さと勝春にすっかり騙され取れる馬券を取れなかったのが、今年はギャロップを選び、騎手の腕を大いに考慮して予想をしよう。何としてもダービーは取りたいものだ。

本命はシルクライトニング。はっきりいって今回のメンバーの中で最も強いのはメジロブライトだと思う。だからメジロブライトを本命にしたい。しかし、皆さんご存知のとおり、私は松永（幹）が嫌いである。それなりの好成績を残してはいるが、騎乗馬が良いだけで、騎手の腕はプラスになっていない。

だからこそその仕方のない本命シルクライトニング。この馬が勝つとははっきり言って思わない。しかし2着にはもっとも近い存在に思える。馬体重がないところに一抹の不安はあるが、今回と同量の57kgを背負っての皐月賞をあれだけ好走したのだから、今回も大丈夫だろう。東京コースを一度経験しているところも心強い。常に好走しながらあまり人気にならないところは、かなり嬉しい。ベテラン安田もけっしてうまいとは思わないが、松永よりははるかにマシだ。

そして「広い東京コースに変わって」とよくいわれるが、実力伯仲の混戦なら最後にものをいうのが器用さと勝負根性だと思う。あまりに器用さがなく後方からしか競馬のできないメジロブライトよりも、小柄ながら大型馬に怯まない勝負根性とインにももぐりこめる器用さを併せ持ったシルクライトニングに今年は期待する。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

今週はとても長くなります。面倒でしょうが、読んでみてください。

オークスを見てなんとなくわかったことは、

①なんとなく足りないと思った馬はやはり足りない。(ダイイチシガー、オレンジピール、エアウイングス等々)

②ライオン産駒はGIで十分足りた。

と、いうことである。だから「取り合えず押さえ」という馬より、穴をあける成績、血統的背景を持った馬を狙うべきである。

まず展開を考えてみよう。サニーブーが逃げ宣言をしており、これに無理に絡むような馬はいないだろう。番手にビザンか。今回は珍しく引っ掛かる馬が全くいないので道中はスローに近い流れになるだろう。オークスのように団子状態になるのは必至。直線はよいドンの競馬になり、上がり3Fは34秒台ではないか。瞬発力のない馬と、揉まれた経験のない馬には厳しいレースになりそう。

消去法でいこうと思う。マイネルマックスはほぼ仕上げた前走での惨敗、1600までしか経験したことがないことから消し。フジヤマビザンは底力のないアンバーシャダイ産駒だし、今回予想される流れと同じような流れだった青葉賞でトキオエクセレントに完敗していることから消し。エリモダンディは共同通信杯で一線級とは差があることを露呈。また不器用なレースしかできないこと、鞍上河北が大きく減点。サイレンスは、かなりの能力を持っていることは認めるが、厳しいレースを経験したことがないため今回も先団につけて正攻法で行くしかなく、直線の叩き合いでやっぱり不利。体のないSS産駒で賞禄もない。母もバリバリの短距離馬であり、前走で一杯とみる。

と、いうことでやっと7頭に絞れた。連穴から挙げていこう。サニーブーは中間一頓挫あり、1周前追いきりでかなり太目だが、素晴らしい体をしている。もともと素質は高く買われていた馬で、前走はあながちフロックともいえないが、35秒台で上がったのがデビュー戦のみで、瞬発力が足りないし、皐月賞のような奇策は、今度は他馬もゆるさまい。セイリユーオーは皐月賞で中間順調でなかった割に頑張ったが、特に切れるわけではなく、その後の順調度を加味しても着が一杯か。でも、この2頭はなんとなくいらなさそう。ここはオークスの教訓を生かして、消しにしよう。そうすると5頭残るので、2頭軸でいこう。

今年は戦国ダービーといわれている。つまり「どの馬にもチャンスがある」ということはファンのみならず、関係者、騎手ともに感じていることだ。ここに最大の落とし穴がある。どの馬も勝ちにいくことになるのだ。勝ちにいて勝てる馬がいらないから戦国ダービーなのに。これが、混戦といわれる時に以外とそこそこの配当で決まる原因である。

以下、5頭について順に取り上げよう。まずはジャスティス。皐月賞後のオープン戦では最高レベルの京都4歳特別を好タイム、3着以下を引き離して勝った内容から、かなり有力である。出遅れ癖はあるものの、意外と器用に立ち回れるし、前走を見る限り勝負根性もかなりのもの。しかし、この器用さがあだになりそうである。スローペースと見るや、早めに動き出すだろう。前走も早めに動いてしのぎきったのだから同じ戦法に出るだろう。しかし、デビュー以来40キロも減っている体と、京都4歳特別組がここ10年連対してないこと、若さが残る馬だけに東京が初コースということが気になる。今回の相手に早めに動いてしのげるかには不安を感じる。しかも2年連続の藤田もなさそうだなあ。次にトキオ。はっきり、青葉賞は最低レベルだし、ここ2走の勝ちタイムもいたって平凡。だが、2000メートル以上で、安定して終い34秒台の時計を出しているのは優秀。今回の流れでは、器用で勝負根性がある、終いのしっかりしたこういう馬が一番怖い。でもでも2週連続の吉田はもっとなさそうだしねえ。吉田だって、オークスに気をよくして勝ちにいくだろうし、出し抜けを食わせるからこういう馬は怖いのであって、勝ちにいてどうかな？吉田にはまだその度胸と器量はなかとみる。トミオのライトニングは勝負根性は非凡だし、器用でもある。しかも馬体も素晴らしい。ベテランだから、この馬が勝つためのレースをするだろうが、ここ10年430キロを切る軽量馬が連対してないことのみが気になる。

2頭軸の1頭目はブライト。この馬は大外を回る競馬しか経験しておらず、スタート後の出足も極端に遅いため、常に最後方からの競馬になってしまう。前に行ったことがないためこの大舞台でも、あっ

と驚く騎乗を全くしない松永幹のことを考えると最後方からのレースになるだろう。しかし直線までじっとしていることが、この馬には吉と出るような気がする。他の馬が勝ちにいつて早めに動きだしたところ、父内国産の堅実さを多分に発揮し、確実に追い込んでくるだろう。ただ一点、競馬ブックの写真が妙に細く写り、実際實めも最近になって速い時計を出しただけなのが気になる。そして、第一本命◎は皐月賞と同じランニングゲイルなんだな、これが。確かにジリだし、血統的にもG1で足りなさそうだし、本命になりそうもないのだが、混戦だからこそ、騎手の腕にかけたい。2週連続の吉田、2年連続の藤田、ダービージョッキー・安田富男がさまにならなければ、やはり武。前走は一番トライアルらしいレースをした。後ろから行って、どれだけの切れを見せるか？思えば弥生賞もトライアルとしてのレースをしていた。そして、中間もつきっきりで稽古をつけており、この馬を手の内にいれようと努力している。あの天才、超一流騎手がである。オークスをみてやはり日本のNo.1ジョッキーはダントツで武であると再認識した。オークスは馬の力が足りなかったが、今回は違う。そして、追い込み馬のジャスティスにも乗っていたので、その馬の力も十分わかっているはずである。そして、前の馬も軽く見てはいけないこともわかっている。トライアルを馬の力を測るレースと割り切り、中間も馬を知るためにつきっきりで稽古をつける武に秘策がないわけがあるまい？思えば、ランニングフリーも菅原の泰っさんがつきっきりで稽古を付け、あそこまで強くなった馬だった。武もついに1頭の馬を自分の手で育て、その馬でG1をとることに喜びを見出したに違いない。きっと、この馬でダービーを取った時、武のガッツポーズは今までになく力強いものであるはずだ。そんな武を応援せざるをえない。

もう一度いう

おやじのハートをつかめ!武!

◎…ランニングゲイル、メジロブライト

○…シルクライトニング △…トキオエクセレント、シルクジャスティス

戦国ダービーというが、こういう時はえてしてそんなに荒れないもの。40倍以下で決まるだろう。というか、5~6番人気の馬までの中で決まるだろう。

やはり、シルクは早くも台頭してきた。年頭に一口馬主参考資料を配布した方には、この結果が納得できることだろうと思う。経営者、育成牧場がしっかりしているクラブは必ず伸びるのだ。今後、一口馬主になろうという方は、マイネル、シルク、大樹、外国産馬中心にリニューアルしたグリーンファームの4つから選ぶことをお勧めする。(社台は高いから、お金があれば、ということで)

先週、日曜最終レースで、一昨年の12月ぶりとなる万馬券をゲットしたおかげで、回収率が大幅アップ。やっと、ちょっとは紙面に出して恥ずかしくない数字になった。今週は、天気が良ければ中山競馬場でやる予定。現在の回収率72.6%

こだわりの“へな”

◎…シルクジャスティス ○…シルクライトニング

△…メジロブライト ランニングゲイル サイレンススズカ サニーブライアン
エリモダンディー トキオエクセレント

…“へな”の理屈…

若草Sで惚れたシルクジャスティスに当然の◎。シルクの馬がダービーを勝つとは思えないが、どう

考えても2着には必ず来るとみて自信の◎だ。息の長くそして鋭いあの末脚は府中の直線に一番似合う。前走を見ても自在性はあるし、どこからでも動けるのは多頭数の大舞台ではやはり頼もしい。それも藤田が仕掛けを間違わなければの話しだが。相手には同じシルクのシルクライトニングとメジロブライト。ライトニングにはタヤスツヨシが、メジロにはウニングチケットがどうしてもダブってみえて、とても不気味だ。後はやはり武のランニングゲイル。この3頭にジャスティスから厚くいけば大丈夫のような気がする。他に面白いのがサイレンススズカとサニーブライアン。スズカはまだ若くて粗削りだが、能力的には出走馬のなかでもNO.1だと思っているし、将来的に一番楽しみな馬だ。サニーも比較的ゆったりした流れになれば再度の逃げ残りが充分ある。

～ふえら～

英語も競馬もまったくセンスが無いと思う今日このごろでございます。

こんな私にダービー馬などわかるはずがありません。新聞を読んでもわからない、競馬雑誌をよんでもわからない、テレビを見てもわからない、ましてや馬達を見たってわかるはずがござんせんでしょ。こうなったら、ドラマチックな夢をもとめて馬券を買ってみようかしら。藤田史上初のダービー2連覇！吉田2週連続のクラシック制覇！孝行娘に続き孝行息子までが叶えた父の夢！武豊悲願の優勝制覇！やはり強かった3歳チャンピオン復活！

夢ねえー、そういえば私もこの前迄はそんなものを追いかけていたっけ。でも世の中そんなに甘くないのよ、食べるものは無いし、電気も無い、お金なんか最近見たことが無い。ところで日本人ってどうしてきれいな噴水とか泉とかにお金を投げ込むんでしょうね、この前とぼとぼと街中を歩いていたらそれはそれは美しい噴水に出くわし、水面に顔を近づけていくとたくさんのお金が投げ込まれているではないですか。法律に詳しいと思われるトゥインクルダンディ氏にお聞きします、あのお金を頂くと犯罪になるのでしょうか？でもまあ、先週キョウエイマーチに人生を賭けた私にとってお金なんてもうどうでもいいのです。生きる希望が欲しいのです。今の私にはすべてが鬼に見えてしまいます。コンビニのレジのお姉さんも、NTTのお姉さんも、NHKのおじさんも、雀卓を囲むお兄さんもみんなみんな鬼に見えてしまいます。あーれーも鬼、これも鬼、そして鬼。私には愛すら鬼になってしまうような気がしてなりません。ちくしょう！鬼、鬼、すべてが鬼、世の中すべて鬼脚だ！んっ、今なんて言った？「お・に・あ・し」。ちえっ、どうせおいらには惨めな人生がおににあんだよ！え、違うって。そうか鬼脚か、神様は優勝というすばらしい舞台でチャンスを与えてくれたんだ。よし決めた、今回は鬼脚軍団で勝負！

ということで、鬼脚軍団を結成します。まずは道悪の皐月賞でも自慢の脚を見せてくれたメジロブライト。次はへな氏ご推薦のシルクジャスティス、京都4歳特別で見せた鬼脚には心を打たれました。そして小柄ながら末脚爆発エリモダディ。府中の直線は俺の滑走路トキオエクセレント。皐月賞No.2の末脚シルクライトニング。みたかNHKショウナンナンバー。お願い忘れないでゴッドスピード。以上7頭で結成いたします。

キャプテンは私の家がシルク会館に近いということからシルクライトニング、シルクジャスティスのシルクコンビ。そしてメジロブライト、トキオエクセレント、ショウナンナンバーが今回のレギュラー、残りの2頭は控えにまわってもらいます。

◎シルクライトニング、シルクジャスティス

△メジロブライト、トキオエクセレント、ショウナンナンバー

◎：シルクライトニング ○：メジロブライト ▲：セイリュウオー
△：エリモダンディー、シルクジャスティス、トキオエクセレント

(追いきりをみて一言)

Sライトニングはグリグリ不動の本命。最悪複勝は外さない。

メジロは平行線。印を落とすことも考えたが底力はやはり一枚上。

セイリュウオーは安富が一番恐れている馬。

穴はエリモ。ゲイルを差しきった強烈な末脚を誰も忘れている。

ジャスティスは上り馬として一応押さえる。ただ未勝利勝ちに時間を要した点が大きくマイナス。

トキオは3才時から目をつけていたので。でも実力はつけている。

ゲイルは前走マイナス10Kが気になり追いきりもイマイチ。消し。

Fビザンを穴評価していたが、追いきりが悪く消し。

Sスズカは前走が限界をみている。4才デビューもマイナス。消し。

サニーは目標にされ4角でスズカに確実に潰される。消し。

(終わりに)

ペースはMまたは仮にスローになってもつつきつつかれるような、先行馬にはきつい流れが予想される。展開を考えると、皐月賞で追い込み届かなかった馬同志の戦いとする。はっきり言って6頭立ての競馬だ。

ラッキー

今回は久しぶりに寄稿します

- ・桜花賞前日 「阪神のマイルで最外枠じゃなあ」→キョウエイマーチ1着
- ・皐月賞翌日 「大外18番枠で出てるのがつかなかった」→サニーブライアン1着
- ・高松宮前日 「一番外じゃ逃げられないよ」→エイシンバーリン2着
- ・オークス前日 「馬混みにいれて折り合いをつけたかったのに大外とは」→メジロドーベル1着

オッズが下がるので、あまり人に教えたくないが、今年の春のG1戦線はズバリ大外である。

ライスシャワシャワ

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎メジロブライト、○シルクジャスティス

▲ランニングゲイル、△セイリュウオー、シルクライトニング

いよいよダービー。毎年指定席の抽選に応募していますが、今年も外れ。抽選くらいは外れてもいいですが、馬券は外れては困ります。有力馬が五指に余る今年ですが、さてさて...

昨日(28日水曜日)までは、本命はランニングゲイルでと考えていたが、今朝のサンケイスポーツを見て唖然。全体の時計としてはまずまずとしても、終い13.3もかかっている。...?、と言う感じ。かかってしまったのか流したのかは、写真と本文しか見ていないのでわかりませんが、調教にしても、

レースにしても終いの時計が気になってしょうがない私としては、今回の追い切りはなんとも疑問。とりあえず評価を下げる。

本命はメジロブライト。広々とし直線が長い東京コースでこそその馬。皐月賞の結果はある程度予測できたことである。共同通信杯で見た怒涛の追い込みが再度炸裂！鞍上ミキオも先週の惨敗でより一層気合が入っているだろうし、間違っても2着は外さないものと見る。

相手にもブライトと同脚質のシルクジャスティス。京都4才特別の勝ち方を見てしまうと、直線を書いてから、メジロブライトとの追い比べしか浮かんでこない。ブライト、ジャスティスの2頭で大外を走り抜ける光景を早く見たいものである。勝ち上がるまでに時間を要したが、それだけにここへ来ての上昇ぶりが目に付いてしまうのも仕方の無いことか。

3番手は当初本命の予定だったランニングゲイル。サイレンススズカ見たさに出かけていったプリンシパルS。結果としては3着に敗れたゲイルであり、巷ではだらしなさ過ぎという声もあるが、あのレースは明らかに武がトライアルとして乗ったもの。ゲイルに東京コースを見せておき、ゲイル自身がどのような脚を使うかを、計りに出走しただけである。事実、武も「収穫はあった」とコメントしていることから、着順は気にすることはない。ただ、追い切りで、終い13.3も要したことから、印としては▲としたが、上記2頭を十分逆転可能であるだろう。

以下、△に共同通信杯ではブライトと差の無いレースをしたセイリュウオー。ぶっつけとなった皐月賞では5着に入り、底力の片鱗は覗かせた。上積みが当然あるものと思われ、間違っても皐月賞以下ということはないはず。同じく△に、トミー安田の気合を買ってシルクライトニングも付け加える。

予想はウソヨ 四国の井崎

シルクジャスティスが混戦を断つ！長い末足が直線炸裂。

2年連続ダービー制覇だ、藤田伸二。

◎…シルクジャスティス

前走京都内回り2000mをどう乗るのか注目していた。短い直線で果たして届くのか？若草賞の鋭い追い込みは本物なのか？結果は3角手前から追い通しで外、外を回り、強い外国産馬プレミアムサンダーをきっちり差しきった。「いける！強い！」と信じた。また、若草賞(5着)でのタイムで評価したニケスピリットが5月17日東京500万特別で最低人気をあざ笑うかのごとく快勝した後、ダービーはジャスティスと決めた。お母さんの「ユーワメルド」はなぜか記憶に残っています。東京ダート2100mで穴を開けたことがあるような気がするのですが……。私はセダン血統が好きで「サクラセダン」が大好きで、その子のサクラタカオー、サクラトウコウ、サクラチヨノオーは力を入れて応援しました。そしてチヨノオーがダービーを取った時には感激しました。2400mの藤田君はほんとにうまいのも心強い。

さてサイレンススズカであるが、前走が案外で距離も苦しい感じであり、人気にもなるため妙味なく評価を大幅に下げました。ただし2月にダービーはサイレンススズカメジロブライトと宣言した手前、この馬券は買います。

ジャスティスの相手は絞れません。タイムの隠れ1位は除外のビゼンスバルというのが返す返す残念でなりません。3つの「シ」、シルクライトニング、ショウナンナンバーがおもしろいと思っています。ショウナンナンバーは東京コースが減法得意、前走は決してフロックでないでしょう。あとビッ

グサンデー、サニーブライアン、メジロブライトあたりか。

今週は結婚式列席のため仙台行きです。ダービーの実況放送を見れないのが残念です。

タイム指数は今回は5走を示してみました。しかし、あくまで前3走が基本です。900万クラスの標準タイムを基準にしています。ジャスティスが唯一最近3走すべてが標準タイムを上回っています。

	5走前	4走前	3走前	2走前	前走	
エアガッツ	-0.6	-0.9	-0.5	-0.9	-1.0	
エリモダンディー	0.9	-0.7	0.0	-4.3	-0.8	
ゴッドスピード	-0.4	-1.5	-0.5	-1.2	-0.9	
サイレンススズカ		0.4	-0.7	0.1	-0.4	
サニーブライアン	0.1	-0.4	-0.3	0.2	-0.3	
ショウナンナンバー	0.1 d	1.4 d	-1.5	-1.0	0.6	C
シルクジャスティス	-3.7d	-2.1d	0.1	0.2	0.9	A
シルクライトニング	-1.5d	-0.1	0.8	0.6	-0.4	B
スリーファイト	-1.9	-1.3	-2.3	-0.2	-2.2	
セイリユーオー	-1.6	-2.7	-0.5	0.4	-0.6	
ティエムトップダン	-0.6	-0.3	0.3	-1.4	-2.7	
トキオエクセレント	-0.5	-2.0	0.0	-0.7	-1.7	
ビッグサンデー	-0.7	-0.2	0.8	-1.0	-2.0	
フジヤマビザン	-2.2d	-0.4d	0.6	-0.5	-2.0	
マイネルマックス	-0.7	-0.2	-0.1	-0.5	-0.2	
マチカネフクキタル	-1.1	-1.1d	-1.0	0.3	-0.4	
メジロブライト	0.1	0.2	0.5	-1.1	-0.5	
ランニングゲイル	-0.7	-1.0	0.8	-0.8	-0.5	
ビゼンスバル	-0.6	-0.7	-0.2	0.7	2.4	

第64回 ダービー

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			サニーブライアン	トキオエクセレント	ティエムトップダン	メジロブライト	マチカネフクキタル	フジヤマビザン	ランニングゲイル	スリーファイト	マイネルマックス	ビッグサンデー	サイレンススズカ	エリモダンディー	エアガッツ	シルクジャスティス	ショウナンナンバー	ゴッドスピード	セイリユーオー	シルクライトニング	馬名
			大西	吉田	和田	松永幹	柴田善	村本	武豊	小野	佐藤哲	南井	上村	河北	横山典	藤田	河内	石橋	蛸名正	安田富	騎手
			△	△		○			△			△				△			△	◎	トウインクルサンデー
																					ドロンジョ
				△		◎			◎							△				○	TP
						◎			△			△	△			△			△	△	おけらくん
						△		◎	○		△		▲		△					△	YO
			△	△		△			△				△	△		◎				○	へなりん
				△		△										◎	△			◎	ふえら
																					ミスターX
				△		○								△		△			▲	◎	心配御無用!
				◎		○			×							▲			×	×	ラッキー
						◎			▲							○			△	△	ライスシャワー
				△		△			△	△			△				◎		△	△	メーヴソング

オース	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	現女	マイル	JC	阪北	朝日	スズ	有馬	フェア	桜花	皐月	天春	NHK	高松	オース
トウインクルサンデー	○		○			○	○				☆	○	○	○	○				○	☆
ドロンジョ	○	◎				◎	○	○				○	○		○				○	
TP				○			○	○	◎		☆		○		○				○	
おけらくん			○	○			○	○	◎			○			○				○	
YO	○			○			○	○							○				○	☆
へなりん	○		○	○		◎								○		○			○	
ふえら	○													○	○	○			○	
ミスターX													○	○	○	○			○	
心配御無用!			○												○				○	
ラッキー			○										○		○	○			○	
ライスシャワー														○	○	○			○	
メーヴソング						○			◎					○					○	

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~

早いもので、春競馬は終盤を迎えております。皆さんの今年の調子はいかがでしょうか？次号は、安田記念特集です。よろしく。